

地方独立行政法人青森県産業技術センター
令和7年度 業務実績評価書

令和8年9月

青森県

目 次

第一 評価の方法	-----	1
第二 評価の結果		
1 項目別評価		
（1）県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 （本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及）	-----	3
（2）県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 （産業活動への総合的な支援）	-----	1 1
（3）県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 （試験・研究開発の取組状況等の情報発信）	-----	1 4
（4）業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	-----	1 5
（5）財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	-----	1 7
（6）その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置	-----	1 9
2 全体評価		
（1）総評	-----	2 1
（2）業務運営の改善その他の措置命令事項	-----	2 1

第一 評価の方法

地方独立行政法人法第28条第1項及び第3項の規定に基づく、地方独立行政法人青森県産業技術センター（以下「センター」という。）の令和7年度における業務の実績評価については、「地方独立行政法人青森県産業技術センターの業務の実績に関する評価の基本方針」及び「地方独立行政法人青森県産業技術センター事業年度評価実施要領」に基づき行った。

評価の実施は、センターが年度計画に定めた事項ごとにその実績及び自己評価等を内容とする業務実績報告書等を基に、センターから聴取等を行うことにより、業務の実績について調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行った。

1 項目別評価

中期計画の次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、次の5段階の評価基準により評価するとともに、その評価理由を明らかにした。

- (1) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
(本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)
- (2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
(産業活動への総合的な支援)
- (3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
(試験・研究開発の取組状況等の情報発信)
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
- (6) その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置

〔評価基準〕

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗が遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、記述式により総合的な評価を行った。

第二 評価の結果

1 項目別評価

(1)	県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置(本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及)	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
-----	--	----	--------------------------

ア 部門別評価

(ア) 工業部門(評価4)

<評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項15項目のうち、7項目が「4：年度計画を上回って実施している」、8項目が「3：おおむね年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

<順調な進捗状況にある取組>

a 試験・研究開発の重点化

[イノベーション創出型研究]

(a) 産業の高度化や労働力不足等に対応するためのDX推進に関する試験・研究開発

若手TIG溶接士の技術向上を目指し、モーションキャプチャカメラでトーチの動きや電極の長さが溶接品質にほとんど影響しないことを確認した。また、熔融池の状態を観察するシステムを作り、最適な光学フィルタを使って溶接の表裏両面を同時に撮影する方法や撮影画像から裏面の溶込み状態を判定するシステムを開発し特許出願するなど、生産性の向上や管理作業の効率化に貢献しており、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 国内外の多様化する消費者ニーズに対応した技術及び製品に関する試験・研究開発

りんご由来のプロシアニジン(PB)の濃度を正確に測定するため、酸や糖の影響を考慮した検量線の検証を行った。結果としてX線回折でPBの相対濃度を推定できることと、機械学習により観察結果の判別・集計が可能であることを明らかにし、これに

関する特許を2件出願した。また、搾汁残渣に酵素処理を行うことで、PB含有を維持・増加させつつ裏ごしが容易になり、種子の除去も簡単になるなど、機能性成分を含む県産素材の加工特性把握や、未・低利用資源の有効活用に貢献しており、順調な進捗状況にあると認められる。

(c) グリーン社会の実現につながる環境負荷軽減に配慮した技術に関する試験・研究開発

造園業の廃木材を圧縮して作ったパネルの断熱性能を試験した結果、内部に空気層を持つ構造で従来より12%性能が向上することを確認した。また、もみ殻などのバイオマス資源を混ぜると更に断熱性能がアップすることも分かった。加えて、パネル表面に凹凸の溝を付けることで断熱性能が向上することを示し、この技術で特許を1件出願するなど、環境負荷軽減のイノベーションを推進しており、順調な進捗状況にあると認められる。

〔重点課題研究〕

(a) 多様なニーズに対応したものづくり産業の生産性向上に関する試験・研究開発

中小企業の多品種少量生産に対応するロボット技術の共同研究を2社と実施した。ロボットの移動設置時の位置補正技術は1mm以下の精度に向上し実用化レベルとなった。また、実証試験に向けてロボットシステムの改良を進めた。さらに、自動ツール交換に対応するロボットハンドの開発により、自動交換動作を実現し、位置補正技術に関する特許も1件出願するなど、信頼性を高めるための評価や測定技術の高度化などに貢献しており、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 地域資源を生かした製品の付加価値向上及び競争力強化に関する試験・研究開発

嫌な臭いを抑え、芳香成分のバランスに優れた清酒の開発を目指し、オリジナル酵母6株を選抜した。そのうち1株は県内の酒造業者で使用され、実地醸造と商品化に至った。果皮も含め全量使った新しい果実酒製法を開発し、ポリフェノール含有量や歩留りが向上した。また、香りの良い味噌製造のため、特徴的な香り成分HEMFの分析体制を整えるなど、青森県産発酵食品の多様化及び付加価値向上に貢献しており、順調な進捗状況にあると認められる。

(c) 地域産業の持続的な発展を支える基盤技術に関する試験・研究開発

県内工芸産業の市場拡大と高齢者のフレイル予防を目指し、福祉視点を取り入れた工芸体験キットとプログラムを開発した。その結果、「木組み体験キット」と「南部菱刺し」応用のキットを2種類試作し、特許を1件出願した。また、県内の工芸体験6件の調査・分析結果を基に社会参加を促す体験プログラムを作成するとともに、手引書とビデオマニュアルを制作し、模擬試験も2件実施する等、新しい市場を見据えた製品・技術の開発に貢献しており、順調な進捗状況にあると認められる。

b 連携による試験・研究開発の推進

(a) 外部機関との柔軟な連携

つがる市における再生可能エネルギーを起点とした産業クラスター形成に向け、つがる市ほか2法人与連携協定を締結したほか、連携協定を締結している大学と共同研究を行うなど、外部と積極的な連携を進めており、順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 農林部門（評価4）

<評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項14項目のうち、1項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、6項目が「4：年度計画を上回って実施している」、7項目が「3：おおむね年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

<特筆すべき取組>

a 試験・研究開発の重点化

〔重点課題研究〕

(a) 国内外の幅広い需要に対応した競争力の高い優良な品種及び種畜に関する試験・研究開発

「ふじ」と比べて、着色や果肉の硬さに優れ、温暖化条件下でも安定生産が可能であり、病害や作業効率の面でも優位性が認められる「青り30号」について、品種登録出願を行った。また、黒毛和種の種雄牛生産において「元忠百合」と「元国鵬」が優れた産肉能力を持つことを明らかにし、県基幹種雄牛の指定につなげたことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

<順調な進捗状況にある取組>

a 試験・研究開発の重点化

〔イノベーション創出型研究〕

(a) 産業の高度化や労働力不足等に対応するためのDX推進に関する試験・研究開発

ながいも栽培において、追肥時期の判断に必要な茎葉重（葉や茎の成長量）の調査を省力化するため、ドローン画像から得られる植被率（葉や茎が地面を覆う割合）を用いた推定手法の検証を行い、栽培方法を問わず夏季の茎葉重を容易かつ高精度に推定できることを明らかにした。このことにより、収量及び品質の向上への寄与が期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) グリーン社会の実現につながる環境負荷軽減に配慮した技術に関する試験・研究開発

にんにくの乾燥技術について、従来は全期間を強制排気で行っていた乾燥方法を、乾燥後期に自然排気へ切り替える方式に改めることで乾燥日数の短縮と燃料消費量の削減が可能であるとの研究成果が得られたことにより、乾燥時の燃料削減効果が期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。

〔重点課題研究〕

(a) 付加価値・労働生産性を向上させる農林畜産物の生産技術に関する試験・研究開発

スマート農機を活用した大豆の雑草防除技術、アルストロメリアの暖房コストを低減する栽培法、夏秋トマトの高温対策技術、いちご「よつぼし」の種子苗に由来するランナー苗利用法、にんにく「白玉王」のりん片分化期後の積算気温からみたマルチ種別の収穫期間の目安、「ジュノハート」の裂果を防止する雨よけ栽培時期などを明らかにした。これらにより、付加価値と労働生産性の向上に貢献することが期待できることから、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 気候変動等に対応した農林畜産物の安定生産技術に関する試験・研究開発

たまねぎでは、畦間にオオムギを間作することで天敵が増加し、ネギアザミウマの寄生密度が低下して被害が軽減されることを明らかにしたほか、りんごの病害虫管理技術として新規薬剤の効果試験や実証試験を行い、4剤をりんご病害虫防除暦及び病害虫防除指針に採用・普及し、これらにより農産物の安定生産に貢献することが期待されることから、順調な進捗状況にあると認められる。

b 連携による試験・研究開発の推進

(a) 外部機関との柔軟な連携

つがる市における再生可能エネルギーを起点とした産業クラスター形成に向け、つがる市ほか2法人与連携協定を締結したほか、連携協定を締結している大学と共同研究を行うなど、外部と積極的な連携を進めており、順調な進捗状況にあると認められる。

c 試験・研究開発の成果の移転・普及

(a) 生産現場に有益な技術・情報の提供

りんごの「ふじの展葉 1 週間後頃」における腐らん病、モニリア病及び黒星病に対するチウラム水和剤及びMBC剤を用いた防除法などの「普及に移す研究成果」や「参考となる研究成果」を 36 件提供し、目標達成率が 120 パーセントであったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

(ウ) 水産部門（評価 4）

<評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項 13 項目のうち、5 項目が「4：年度計画を上回って実施している」、8 項目が「3：おおむね年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

<順調な進捗状況にある取組>

a 試験・研究開発の重点化

〔イノベーション創出型研究〕

(a) 産業の高度化や労働力不足等に対応するためのDX推進に関する試験・研究開発

漁業者からの要望を踏まえて、餌料環境調査の頻度を高め、試験運用中の陸奥湾ホタテガイ養殖支援システム「ほたてナビ」を通じて、ホタテガイの養殖管理に重要となる餌料環境情報の発信を開始したことにより、漁業者の生産活動に貢献したことから、順調な進捗状況にあると認められる。

〔重点課題研究〕

(a) 漁業所得の安定に向けた水産資源の安定的・持続的利用のための管理技術に関する試験・研究開発

ブリ等の移動生態状況を把握し、操業時の漁況予測に活用するため、寄生虫であるアニサキスを生物タグとして利用できるよう、

工業総合研究所と共同で耳石の微量元素分析技術を開発し、シリコンフィルムを用いた技術として特許を1件出願したことから、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 国内外で競争力のある水産生物の効率的・安定的な増養殖技術に関する試験・研究開発

県産の魚粉、魚油、酒粕を原料とし、飼料メーカーに製造させたサーモン用飼料を用いて給餌試験を行い、市販飼料より給餌効率が低いことを明らかにした。また、野辺地川漁協が保有するサケマスふ化施設等における海面養殖サーモン種苗の生産試験により、種苗生産が可能であることを実証するとともに、生産した海面養殖サーモン種苗（1,780尾、1.4トン）を用いた、飼育試験が開始されたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

(c) 漁場環境の管理・保全技術に関する試験・研究開発

水温、塩分、透明度、溶存酸素量等の海況の特徴、経年変動及びブイロボデータを含め複合的な解析を行い、ホタテガイのへい死を低減できる漁場環境の特徴を明らかにし、漁場環境の管理や保全に活用されたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

b 連携による試験・研究開発の推進

(a) 外部機関との柔軟な連携

つがる市における再生可能エネルギーを起点とした産業クラスター形成に向け、つがる市ほか2法人与連携協定を締結したほか、連携協定を締結している大学と共同研究を行うなど、外部と積極的な連携を進めており、順調な進捗状況にあると認められる。

(エ) 食品加工部門（評価4）

<評価の理由>

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項14項目のうち、5項目が「4：年度計画を上回って実施している」、9項目が「3：おおむね年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の推進と成果の移転・普及が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

＜順調な進捗状況にある取組＞

a 試験・研究開発の重点化

〔イノベーション創出型研究〕

(a) 国内外の多様化する消費者ニーズに対応した技術及び製品に関する試験・研究開発

りんご由来のプロシアニジンについて、搾汁残渣の酵素処理を行うことにより、酵素の種類によってプロシアニジンの含量を維持、又は微増させることが可能であることを明らかにした。また、冷凍刺身技術や未利用資源活用として、低温加熱により生に近い食感を実現したホタテの冷凍貝柱の製法をマニュアル化したほか、酒粕を飼料としたウニの養殖試験を実施し、2漁協で試験販売を行うとともに、2事業者に技術移転するなど県内事業者の商品開発に貢献したことから、順調な進捗状況にあると認められる。

〔重点課題研究〕

(a) 効率的で持続可能な資源活用を目指した食品加工技術に関する試験・研究開発

貯蔵方法により、ニンニクリン片の機能性成分が増加することを明らかにした。また、植物性代替原料として大豆たんぱくを使用した加工品3品目をマニュアル化し、県内事業者への普及を図ったほか、製品開発に対する技術支援により新たに8品が商品化されたことから、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 意欲ある食品関連産業の持続的活動や成長をサポートする試験・研究開発

大間町の特産品「オコッペいも」の規格外品を有効活用して、温・冷製のレトルトスープ及び同品のレトルト製品を開発し、マニュアル化した製法を大間町及び事業者へ技術移転した。また、水産加工原料不足に対応するため、深海性底魚類や南方系魚種を用いた加工品17品の製法をマニュアル化し、展示試食会等で普及を図ったほか、事業者ニーズに即応した開発により、「燻製堂 海峡サーモン」等2品が商品化されるなど、順調な進捗状況にあると認められる。

b 連携による試験・研究開発の推進

(a) 外部機関との柔軟な連携

つがる市における再生可能エネルギーを起点とした産業クラスター形成に向け、つがる市ほか2法人与連携協定を締結したほか、連携協定を締結している大学と共同研究を行うなど、外部と積極的な連携を進めており、順調な進捗状況にあると認められる。

(b) 現場解決型ドクター派遣制度の実施

研究者が生産現場に出向き、生産事業者が抱える個々の課題36件に対応し、1品を商品化したことから、順調な進捗状況にあると認められる。

イ 総合評価（評価4）

＜評価の理由＞

4研究部門の評価の平均値により、「4」相当と認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

(2) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置（産業活動への総合的な支援）	評価 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
---	--

＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項 11 項目のうち、1 項目が「5：年度計画を大幅に上回って実施している」、10 項目が「3：おおむね年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、産業活動への支援が計画どおりに実施されていると認められることから、「3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

ア 技術相談・指導

(ア) 技術相談への対応

工業部門では、IoT 開発支援棟などを利用して、県内事業者を対象とした指導支援を延べ 75 人に実施したほか、センター全体では、事業者及び関係団体等からの 2,734 件の技術相談に対し、電話や対面等により指導するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 生産現場における指導

農林水産加工分野において、農林水産事務所と連携して水稻奨励品種の決定試験、生産者指導、肥育牛の飼養管理指導、青森きくらげの栽培指導、ホタテガイの稚貝採取指導、漬物製造に係る衛生管理指導等を 182 回実施するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

イ 依頼試験・分析・調査及び設備・機器の利用

(ア) 依頼試験・分析・調査

依頼試験・分析・調査について、積極的な PR を行い、実施件数が 2,905 件（目標達成率 104 パーセント）と計画どおり実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

（イ）設備・機器の利用

設備・機器の利用について、積極的なPRを行い、利用件数が6, 946件（目標達成率257パーセント）と目標値を大幅に上回ったことから、特筆すべき進捗状況にあると認められる。

ウ 関係団体、産業界等との連携・協力

（ア）研究成果発表会及び技術展示

試験・研究開発により蓄積した技術等の成果を広く活用してもらうため、各研究所の研究成果発表会、参観デー、工芸サブブランド研究会、ロボット周辺機器展示会、加工品展示試食会等を31回開催するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

（イ）関係団体等との情報交換

技術とノウハウの活用や情報交換のため、関係団体主催の「工業系支援機関ネットワーク研修会」や「あおもり新食材研究会」等に1, 316回参加するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

（ウ）地域産業の担い手の育成や子供たちの産業に対する理解の増進

担い手の育成や子供たちの理解の増進のため、関係団体主催の「新型アイガモロボ実演会」や「ながいも栽培技術研修会」等に412回、延べ637人、小学校、中学校、高等学校及び大学に79回、延べ132人の講師を派遣し、産業技術に対する理解を深めてもらうなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

エ 知的財産等の創造・管理・活用

（ア）創造と有効活用

産業財産権の出願件数及び優良種苗等の育成件数が合計で23件（目標達成率111パーセント）となったほか、「パルス幅変調回路」などの産業財産権について新たに2件（目標達成率100パーセント）の実施許諾を開始するなど計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

（イ）適正管理

権利を適切に管理するため、外部の有識者で構成する「職務発明等審査会」を2回開催し、特許権の更新等を適正に行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(ウ) 優良な種苗・種畜等の生産と供給

生産者が安全・安心で高品質な農林水産物を安定的に生産するため、水稻の種苗 24,880kg、鶏のひな 16,484羽、優良種雄牛の凍結精液 2,226本を供給するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

オ 緊急事態への迅速な対応

県と締結した「緊急時における業務連携に関する協定」に基づき、緊急事態に対応できる体制を整備し、松くい虫被害が疑われるマツ類のDNA検査を行ってその結果を速やかに県に報告するとともに防除方法の助言を行うなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(3) 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置（試験・研究開発の取組状況等の情報発信）	評価 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
---	---

＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項2項目のうち、1項目が「4：年度計画を上回って実施している」、1項目が「3：おおむね年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、試験・研究開発の取組状況等の情報発信が十分に行われていると認められることから、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」と評価される。

ア 多様な広報媒体を利用した情報発信

新たな動画38件を動画投稿サイトに追加するなど、ホームページ、メールマガジン、広報誌、マスメディア等の多様な広報媒体を利用して、試験・研究開発や技術支援の取組状況等の情報発信を711回（目標達成率178パーセント）行い、目標値を上回ったことから、順調な進捗状況にあると認められる。

イ 迅速な情報提供

水稻、野菜及び花きの生育状況、りんごの開花予測、陸奥湾の海況、主要魚類の漁獲情報などの利用者にとって有益な情報をホームページやWebアプリ等で361回（目標達成率100パーセント）迅速に提供し、計画どおり実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	評価 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
--	--

＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項8項目全てが「3：おおむね年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、業務運営の改善及び効率化の取組が計画どおりに実施されていると認められることから、「3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

ア 業務の見直し等

(ア) 内部評価、外部評価等に基づいた資源配分

令和8年度に実施する研究課題について、内部評価及び外部評価により予算額を査定するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 業務実績評価やアンケート調査等に基づいた業務の見直し

県の業務実績評価において「業務運営の改善その他の措置命令事項」はなかったほか、センターの利用者を対象としたアンケート調査の結果を業務の改善に役立てるなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(ウ) デジタル技術の有効活用

生成AI、ビジネスチャットツールの安全かつ効果的に活用することを目的に「青森県産業技術センター生成AI利用ガイドライン」を策定したほか、ビジネスチャットツールの試行を開始するなど、計画どおり実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

イ 組織運営

(ア) 企画経営機能の発揮

理事会、所長会議、企画経営監会議により、組織全体を統括し、体系的かつ計画的な管理運営を担う機能が計画どおりに発揮されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 各試験研究部門による一体性の確保

理事会や所長会議等での決定事項や各種規程などの共有すべき情報を、職員がパソコン上で閲覧できる環境としているほか、第5期以降の施設整備を効率的に行うため「次期施設整備計画等検討プロジェクトチーム」を新たに設置して課題の共有を図るなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

ウ 職員の確保と能力の向上

(ア) 職員の確保

「地方独立行政法人青森県産業技術センター人員適正化計画」に基づき、県からの派遣職員の削減や大学が開催する合同企業説明会への参加などによる専門性の高い職員の採用を進めたことにより、令和8年4月1日の人員数は339人（定員の97パーセント）となり、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 職員の能力向上

「青森産技を支える人財の育成方針」に基づき、各種研修を実施したほか、他の研究所や大学院派遣などにより、能力向上を図るなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(ウ) 適正な人事評価

県が実施する人事評価者研修の活用などにより、適切に人事評価を実施したほか、顕著な業績を挙げた職員（個人、グループ合わせて6件、計18人）を表彰するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	評価 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
---------------------------------------	--

＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項5項目全て「3：おおむね年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、財務内容の改善に向けた取組が計画どおり実施されていると認められることから、「3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

ア 運営経費の執行の効率化

(ア) 省資源化の推進

各研究所の機器・設備や会議室等について、情報システムで空き状況を共有して効率的に共同利用したほか、業務や健康に支障のない範囲で徹底して光熱費の削減に取り組むなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 職員のコスト意識の向上、運営経費の適正かつ効率的執行

予算の執行状況を情報システムの掲示板で周知し、職員のコスト意識の向上を図ったほか、Web会議の使用による旅費の削減や移動時間の短縮により、生産性を向上させるなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

イ 外部からの研究資金の導入と自己収入の確保

(ア) 公募型研究資金の獲得

企業等からの受託研究費を52課題で152,946千円、国や科学技術振興機構等の公募型研究資金を17課題で26,201千円獲得したことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 依頼試験手数料、農林水産物販売収益等の自己収入の確保

研修会の開催時など様々な機会を通じた保有機器や依頼試験の周知により、利用の促進を図ったことで、設備利用料や依頼試験

手数料として18,001千円確保したほか、生乳、米などの農林水産物の販売により205,353千円確保するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

ウ 剰余金の有効な活用

剰余金の一部は目的積立金として、林業研究所の電気設備更新工事費用等に充てており、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(6)	その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置	評価	3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
-----	------------------------------	----	------------------------------

＜評価の理由＞

センターの自己評価は、年度計画に定めた事項6項目全てが「3：おおむね年度計画どおり実施している」であり、業務の進捗状況及び業務実績報告書の特記事項の内容を総合的に判断し、その他業務運営に関する重要目標達成の措置が計画どおり実施されていると認められることから、「3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」と評価される。

ア 内部統制の強化及び法令遵守の徹底

「内部統制の推進に関する規程」に基づき、内部監査により業務の自己点検を行うとともに、法令遵守の徹底に向け「青森産技を支える人財の育成方針」に基づく基本研修を実施するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

イ 情報管理・公開

「情報セキュリティ規程」に基づき、最高情報セキュリティ責任者などを定めてネットワーク接続端末を管理するとともに、ホームページ管理講習会等を開催し、情報漏えい防止を図るなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

ウ 労働安全衛生管理

(ア) 安全衛生管理チェックリストによる各種点検及び労働安全衛生に関する研修等の実施

「職員安全衛生管理規程」に基づき、機器等の自主検査や安全衛生パトロールを行うとともに、労働安全コンサルタントによる研修会を開催するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

(イ) 職員の心身の健康の保持増進

全職員を対象に定期健康診断を実施し、「要指導」の判定を受けた職員に対して産業医による事后面談を行ったほか、メンタルヘルス担当医によるメンタルヘルス研修会を開催するなど、計画どおりに実施されたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

エ 施設・設備の計画的な整備

りんご研究所の庁舎整備や野菜研究所の施設整備、水産総合研究所の自動観測システムの更新等について、県と協議しながら適切に進めたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

オ 危機管理対策の推進

県の災害対応マニュアルの改訂を踏まえ、「災害・事故等業務の手引き」の改正を行い、職員の負担軽減や迅速な情報伝達・収集の効率化が図られたことから、おおむね順調な進捗状況にあると認められる。

2 全体評価

(1) 総評

センターは、これまでの成果を継承しながら、技術の実用化や売れる商品づくり等の出口を見据えた取組を戦略的かつ重点的に推進し、本県の産業の振興及び経済の発展を下支えするため、役職員が一丸となって試験・研究開発の業務に取り組んでいる。

「本県産業の未来を支える試験・研究開発の推進と成果の移転・普及」については、着色が良好で果肉が硬く近年の温暖化条件下でも安定して生産でき、病害や作業効率の面でも優位性が認められる「青り 30 号」の品種登録を出願したほか、黒毛和種の種雄牛「元忠百合」及び「元国鵬」が優れた産肉能力を持つことを明らかにして基幹種雄牛の指定につなげたこと、「試験・研究開発の取組状況等の情報発信」については、センターの取組を紹介する動画を投稿サイトに追加するなど、多様な広報媒体を利用して目標を上回る試験・研修開発や技術支援の取組等の情報発信を行ったことから、「中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

「産業活動への総合的な支援」など 4 項目については、計画どおり実施されたことから、「中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」とした。

第四期中期目標・計画期間（令和 6 年度～令和 10 年度）における令和 7 年度の業務の実績評価は、「中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」が 2 項目、「中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」が 4 項目であることを勘案し、おおむね順調な進捗状況にあると評価する。

(2) 業務運営の改善その他の措置命令事項

特になし